

第 8 回木曽川下流水防災協議会

～令和 3 年度の取り組みと今後の取り組み～



海津市の取り組み事例

令和3年度

・防災行政無線の親局設備の改修 (2-B)

親局のシステムを更新。さらに、音声自動生成装置、自動配信装置を導入。放送内容のテキスト入力というワンオペレーションで、音声を自動生成して放送し、同時に、メールとアプリに自動配信することが可能になった。



・ジュニア防災リーダー養成講座の開催 (2-G)

若い世代から防災意識高揚を図るため、中学生を対象にジュニア防災士養成講座を開催。簡易トイレの使い方等、実践的な内容で防災を学んだ。



・避難情報の改正に対応したリーフレットの配布 (2-D)

災害対策基本法改正による避難情報の新たな発表方法について、分かりやすく解説した防災リーフレットを作成し、全戸配布した。



令和4年度以降

・総合防災マップの作製・配布 (2-A)

長良川、揖斐川の他に12の中小河川の洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、地震による液状化マップ、揺れやすさマップなど、すべてのハザードを網羅した総合防災マップを作製し、全戸配布する。



・防災協力パートナー登録制度 (仮称) の創設 (1-J)

平時の訓練や災害発生時の支援に協力していただける団体や事業所を登録する制度を創設。一時避難先の確保や避難の支援等が期待できる。

・社会福祉協議会と協働で避難所開設訓練を実施 (2-G)

地区の社会福祉協議会と自主防災組織、市が協働で避難所開設訓練を実施。要配慮者の逃げ遅れを防ぐことや住民主体による避難所の開設と運営を目指す。R4は、2か所で実施予定。



愛西市の取り組み事例

令和3年度

・あいさい市民防災講演会

- 実施日：令和3年10月22日
- 実施場所：愛西市文化会館ホール
- 参加者：自主防災会長、総代、市民等

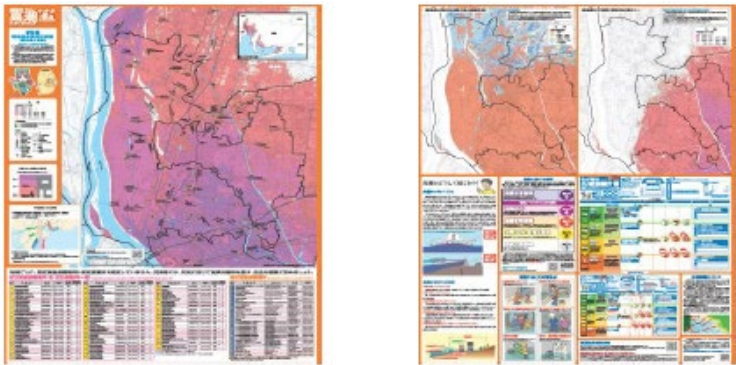


▲講演会の様子

「地域を自らの力で災害に強くしていくために」というテーマで、愛西市防災ハンドブックの監修者である、名古屋大学減災連携研究センターの新井伸夫特任教授を講師として迎え、講演会を実施

令和4年度以降

・高潮ハザードマップの活用



表

裏



▲防災ぎゃらりー

令和4年4月に市内全世帯へ配布したほか、防災ぎゃらりーや市のホームページでお知らせしています。
今後は、高潮災害をはじめとする各種の災害の発生に備え、広域避難やマイ・タイムライン作成の必要性などを出前講座などの機会を通じて周知・啓発していく

津島市の取り組み事例

令和3年度

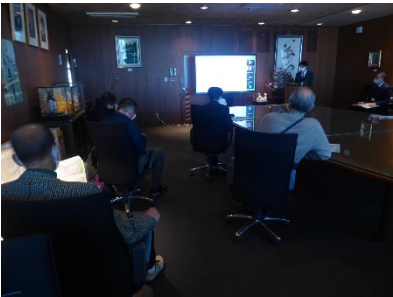
・防災講演会（Web実施）の実施（2-E）

市が市民に対して津島市の地理的特性に伴う洪水災害や津波災害についての説明、防災事業についての紹介を行った後、名古屋大学教授による講演を実施

津島市防災講演会～みんなでもるつしま～概要

令和4年2月11日（金・祝）午前10時から正午まで
会場:Web会議ツール「ZOOM」

時刻	概要
9:30	ZOOM開設 ※必ずミュートでのご参加をお願いします。
10:00	開会（10分） 諸注意等 開会のあいさつ（日比市長）
10:15	講演①（30分） 津島市危機管理課 主事 西尾 史啓 講演テーマ「危機管理課から住民のみなさまへ」
10:45	休憩（10分）
11:00	講演②（30分） 講師 名古屋大学減災連携研究センター長 飛田 眞氏 講演テーマ「地域の将来に向けたそれぞれの立場での防災・減災活動」
11:50	閉会式 閉会のあいさつ
11:55	終了



・防災映像の作成（2-E）

ハザードマップの見方やマイ・タイムラインの作り方等を映像として作成し、CATVで放映することで市民の防災意識向上を図った。



令和4年度以降

・防災教室の開催（2-E）

令和3年3月にオープンした自助・共助防災学習センターの活性化及び市民の防災意識向上を図るため、9月より毎月1回の防災教室を開催する。

【スケジュール】

日付	テーマ	内 容	対象者	会場
9/18 (日)	避難所生活を体験しよう	・避難所用テント組み立て、段ボールベッド組み立て、間仕切り組立て、簡易トイレについて	大人 子ども	小ホール
10/16 (日)	地震に備えよう	・家具固定の仕方（大人） ・身近な物を用いた防災グッズ作成 ①（子ども）	大人 子ども	第1会議室
11/20 (日)	3・11から学ぶ ～追悼の鐘・心に響け～	・福島県郡山市での、地震・放射能汚染体験 ・宮城県多賀城市での、地震・津波体験	大人	小ホール
12/18 (日)	遊んで学べる防災ゲーム	・防災クイズ等のゲーム大会（クリスマスが近いので景品あり）	子ども	第1会議室
1/15 (日)	避難所運営ゲームを体験しよう	・避難所運営ゲーム（HUG）の実施	大人 子ども	第1会議室
2/19 (日)	備蓄について考えよう	・市の備蓄品紹介、備蓄しておくべき物の紹介、防災バッグの紹介（大人） ・身近な物を用いた防災グッズ作成 ②（子ども）	大人 子ども	第1会議室

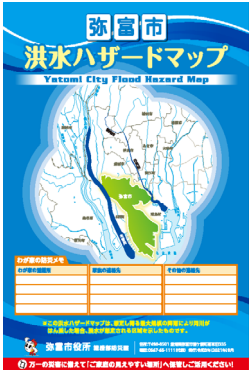
・津島市総合防災訓練の実施（2-G）

コロナ禍により令和2年・3年と中止になっていた津島市総合防災訓練を市内3小学校区で実施する。

弥富市の取り組み事例

令和3年度

・ハザードマップ作成 (2-A)



洪水のハザードマップについては令和3年9月に全戸配布。浸水津波、高潮のハザードマップについては、令和4年5月に全戸配布

・防災講座の実施 (2-E)

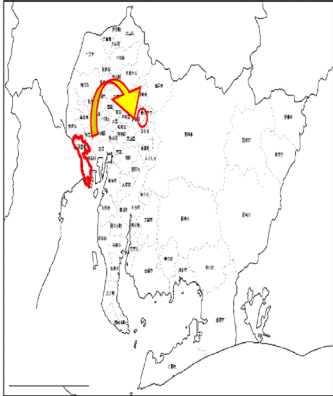
新型コロナウイルス感染症対策をふまえた出前講座を実施
(3密回避等、感染症対策ができる環境でのみ開催)

- ・実施場所：地区公民館、高校
- ・実施日：
 - 令和3年 6月11日
 - 令和3年 9月29日 (中止)
 - 令和3年11月 5日
 - 令和3年11月 8日
 - 令和3年11月14日
 - 令和3年11月26日
 - 令和3年12月 5日
 - 令和3年12月12日
 - 令和3年12月14日
 - 令和3年12月15日
 - 令和4年 2月18日 (中止)
- ・参加者：
自主防災会、地区役員、消防団、高校生

令和4年度以降

・大規模台風による高潮・洪水からの広域避難を実現するための取り組み (1-G)

令和3年1月に愛知学院大学と「浸水時における広域避難に関する協定」を締結した。今年度は市有バスを利用し、愛知学院大学への広域避難訓練を実施予定



・防災ワークショップの実施 (2-E)

「避難所運営」をテーマに防災ワークショップを学区ごとに開催し、地域住民の意識の向上を図る



蟹江町の取り組み事例

令和3年度

・広報誌による特集 (2-D)

令和3年8月号「命を守る防災」を特集、全戸配布



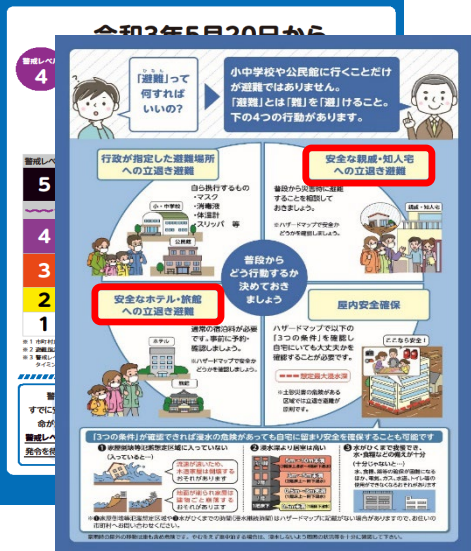
・高潮ハザードマップの作成 (2-A)

令和3年11月、新たな想定による高潮ハザードマップを作成、全戸配布



令和3年6月、内閣府作成のリーフレットの全戸配布により、新たな避難情報、事前の立退き避難等の啓発を実施

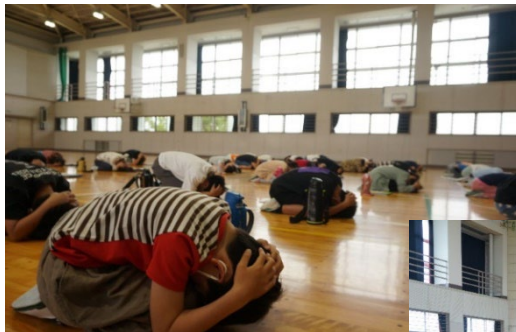
・リーフレットの活用 (2-D)



令和4年度以降

・防災教育の支援 (2-F)

小学生の防災教育を支援
(R4.5.11新蟹江小学校3年生)



感染対策のため換気、対人距離を考慮

⇐ シェイクアウト訓練



・防災学習会の支援 (2-E) ↓



民生委員の防災教育を支援
(R4.5.11)

・防災学習会の支援 (2-E)

6月30日 蟹江小学校職員及びPTA役員
7月19日 新蟹江小学校職員

- ・蟹江町地域防災訓練 (2-G) 8月28日 町内全域
- ・蟹江町職域防災訓練 (2-G) 9月1日 町内事業所

飛島村の取り組み事例

令和3年度

・ 自主防災研修会の開催（2-E、2-G）

避難情報に関するガイドラインや避難対象地域等の説明を実施



令和4年度以降

・ 新規避難所建設（1-K）

令和4年7月に新たに梅之郷地区に避難所が竣工



・ 高潮ハザードマップの作成（2-A）

愛知県が公表した高潮浸水想定を基に、高潮ハザードマップを作成

・ 防災アプリケーションの導入（2-B）

スマートフォン等を活用した「防災アプリケーション」を導入することで、防災情報の伝達手段を増やし、音声だけでなく、文字や地図を使った情報の提供が可能となる



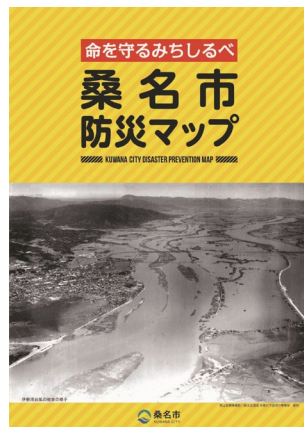
桑名市の取り組み事例

令和3年度

・「桑名市防災マップー命を守る道しるべ」の発行・配布（2-A）

「風水害時」「震災時」各々の浸水想定区域を市域全体図にて視覚的にわかりやすく表示したほか、河川ごとの洪水ハザードマップなどを掲載

A4フルカラー 40ページの冊子形式として7万部作成し、全戸配布



・広域避難訓練の実施（2-G）

浸水想定区域である精義地区の住民がバスやタクシーを利用して高台の七和地区へ避難する、市内における「広域避難訓練」を実施



令和4年度以降

・緊急防災ラジオの導入（5-D）

主にスマートフォンなどの情報収集機器を持たない高齢者等を対象に、FM電波を利用した緊急防災ラジオを新たに導入する



・桑名市水防訓練の実施（3-B）

令和4年5月22日、3年ぶりに消防団員や市職員など約400人により桑名市水防訓練を実施
市内で洪水が発生したことを想定し、釜段工・月の輪工・積み土のう工といった工法の訓練を実施
来年度以降も実施する予定



令和3年度

・タイムラインの策定(1-C)

出水期前に全職員対象にタイムラインに沿った訓練を実施

・避難に資する設備等の整備状況(1-K)

防災IT化を図るため、防災行政無線の親卓を更新し、緊急速報メールと配信メールを一括配信できる情報連携システムを整備

・避難に関する教育(2-F)

小学校で伊勢湾台風の教訓
中学校で地震・津波災害の
防災教育を実施



・避難に関する訓練(2-G)

自主防災会との勉強・研修会やコロナ感染症対策
による避難所運営アセスメント訓練を実施



令和4年度以降

・住民等への情報伝達(2-C)

広報きそさき6月号に出水期前に災害時等の情報
伝達ツールを掲載

(水位カメラ・配信メール・停電情報)

きそさき

6月号

災害情報

台風シーズンが近づいてきました。災害の備えはしていますか。
災害時には、正確な情報を早く収集する事が重要です。今回は、メールやテレビ、アプリなど様々な媒体を紹介します。
皆さん、情報は積極的に収集し、避難行動に役立てましょう。

【木曽岬町メール配信サービスについて】

●町ののお知らせや防災情報などを「いつでも」「どこでも」簡単に入手することができます。
配信メールサービスは防災行政無線と連動しており、放送が開始や電波障害等で聞こえにくくてもメールで放送内容をお知らせします。
登録は簡単で、どこにいても町の情報が確認できます。

【登録方法】
QRコードからサイトにアクセスするか、
[k-sosaki@sig.jp] に空メールを送信してください。

■問合せ先／危機管理課 ☎68-6101

【停電時の見える化】

●中部電力パワーグリッド株式会社の停電情報お知らせサービス（無料アプリ）
平成30年9月に発生した台風により多くの地域で停電が発生しました。
停電情報お知らせサービスでは、登録した地域やご契約単位で停電情報をプッシュ通知でお知らせします。
QRコードからアプリ（無料）をダウンロードしてください。

■問合せ先／中部電力パワーグリッド株式会社
最寄営業所
■フリーコール／0120-985-232

【渚水予測水位確認サービス】

情報カメラにより、台風や大雨警報発令時に中央幹線排水路と御田川下流部（堤内）の水位映像が確認できます。

①テレビによる確認
●ケーブルテレビCTV ライブチャンネル(地上11ch) 情報カメラにて
※平時は、役場屋上からの映像、国道23号線の道路の様子、中央幹線排水路の映像が確認できます。
※午前5時～午後9時の時間帯で放送しています。

②CTVコネク（無料アプリ）による確認
●CTVコネクの情報カメラにて
※平時は、役場屋上からの映像、国道23号線の道路の様子、中央幹線排水路の映像が確認できます。
※アプリにCTV IDを登録すれば、情報カメラの映像を動画で確認できます。
※CTVコネクは避難所等のCTV Wi-Fiにも簡単接続できます
下記のQRコードからアプリ（無料）をダウンロードしてください。

■問合せ先／株式会社シー・ティー・ワイ
■フリーダイヤル／0120-30-6500

・避難に関する訓練(2-G)

毎年、9月第1日曜日に。防災意識の向上を図り、
自助・共助力を高める。今年度は、官民連携して
防災の普及・啓発の講演会や展示

※令和3年度の取り組み(1-C・2-F・2-G)は継続

木曾川下流河川事務所の取り組み事例

令和3年度

・防災講座の実施 (2-E)

児童・生徒が高潮浸水体験映像を通じ浸水被害を疑似体験するとともに、過去の災害から学び、自分達の暮らしている地域を知り、そして災害の備えや迅速な避難の大切さを学習するための防災講座を実施 (令和3年11月)



・DX技術を活用した実動訓練 (3-B)

関係機関が連携し、コロナ禍において人と人との接触を極力避けた上で省力化を図り、被災箇所の迅速な把握や復旧の早期実施に向けた実動訓練を実施 (令和3年5月)



・高速道路からの資材搬入訓練 (3-C)

木曾三川下流部で広域的な浸水被害が発生した場合を想定し、伊勢湾岸自動車道から揖斐川の河川堤防へクレーンを用いて資材を搬入する訓練を実施 (令和3年7月)



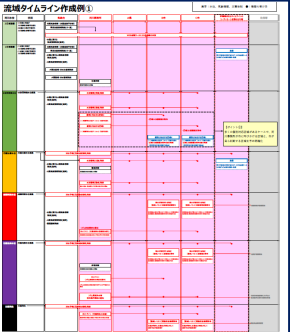
・重要水防箇所合同巡視 (3-D)

木曾川下流域の水防活動を円滑に実施するため、令和3年6月に木曾川下流域の自治体及び消防団の皆様と合同で重要水防箇所の河川巡視を実施

令和4年度以降

・流域タイムラインの作成 (1-C)

流域タイムライン及び他機関連携型タイムラインの作成を行う (令和5年度出水期からの運用)



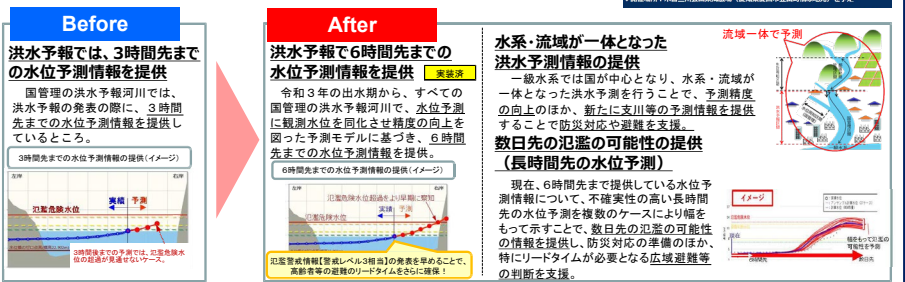
・水防演習の実施 (4-B)

令和5年5月中旬～下旬 (予定) に、木曾三川連合総合水防演習 (仮称) を実施予定



・洪水予測の高度化 (3-A)

精度の向上を図り、6時間先～数時間先の水位予測情報を提供する



・堤防整備事業 (5-A)

堤防の高さ及び断面が不足しているため、堤防整備を実施する

